



分かっていることと出来ること (進路講演会感想 その2)

(続き) …「本校の期待する生徒の姿」。ドキッとした。何気ない日常を過ごす場としての現在の日比谷高校は、少し前の私たちにとっては憧れの場であり、目標とする場だったことを、私たちは忘れてやしないだろうか。現在の時間が、昔思っていた時間と違う使われ方をしているとしたら、もう一度考え直すべき時期なのかなと感じた。目標と、それを実現するための意志について気づくきっかけとなった。(M)

●日比谷高校の精神である「幅広く学ぶ」という目標は、難関大学、特に東京大学や就職活動でも通用するものなのだと知った。講演の先生は、はっきりとした口調で興味深い話をぽんぽんして下さったので、引きこまれた。

「分かっていることと出来ることは違う」、まさに「勉強すれば…、練習すれば…」という甘い考えをいつも持っている私の心に突き刺さった。あと、習慣付けを今日から始めようと思う。現段階の私は、やる気を出して張り切る日と何もしない日の差が大きく、とてもムラがあるからだ。大学受験の先を見据えつつ、あえて、だからこそ、難関大学を受験するというのは、受験を学習する場として見ていて、すてきだと思った。(O)

●もう一度、志望校のアドミッションポリシーを見ようと思った。その学校が求めているもの、入学後に提供する環境、社会に送りだそうとしている人材まできちんと調べて、本質的な大学の意義を知った上で勉強しようと思います。まずは同志望の友人をたくさん見つけ、お互いに高め合っていきたいと思います。最後の「分かっている」と「できる」は

違うという話が印象に残りました。(K)

●能力不安に陥ることが日比谷に入ってから多かったのですが、大学入試を乗り越えるためには、それに打ち勝つことが必要なんだと今日聞いて知ることが出来ました。日比谷は必修科目が多いことに戸惑いましたが、頑張ることで後に役立つことがあるということなので、授業をもっと真剣に受けるようにしようと思いました。また、社会人基礎力を身につけるためにも、行事にも熱心に参加しようと思います。(K)

●最近では体力もついてきて、部活後にヘトヘトになることはないのに、布団でダラダラして寝てしまう。今日から机にすわる習慣をつけたいと思う。このモチベーションは長くはつづかないと思うので、目標を紙に書くなどして維持したい。テレビを見ない分、スマホを見てしまうので、ケータイを部屋に置かないなどして、集中して効率よく学習したい。また、物理・化学など、受験では使わない教科もきちんとこなそうと思う。(N)

●今回の話を聞いて、今の私がやらなければいけないこと、始めなければいけないことを改めて認識しました。第一志望や、将来どんなことがしたいかは決まっているのに、うだうだして何もしていないでいることが多い。忙しいのに時間を無題にしてきました。17枚目のやる気UPのコツにあったように、先ずは机に向かって教科書を開く！という習慣をつけたいです。すぐに行きたい大学があり、頑張れば手が届くだろうというのに、勉強しなかったから行けないでは切なすぎます。今日から頑張りたいです。(N)